



りゅうおう

議会だより

No. 148
2009.8.1

RYUOH

編集発行●滋賀県蒲生郡 竜王町議会 ☎0748-58-3713(直通) (有)58-3713



今年も、
事故のないようにね😊

●
主
な
記
事
●

第2回（6月）定例会

- 一般・特別会計補正予算 P2～3
 条例改正
- 臨時議会関係 P4～5
- 一般質問 P6～10
- こんな質問もしました P10～11
- 各委員会報告 P11～14
- 議会傍聴記・編集後記 P14

平成21年第2回定例会は6月8日から
6月19日までの日程で開催されました。

条例改正
一般会計補正など

※条例改正

◎竜王町税条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する法律により、現下の社会・経済状況を踏まえ、個人住民税において住宅借入金等特別税額控除の創設、また土地需要を喚起し、土地の流動化と有効活用を推進する観点から、土地等の長期譲渡所得に係る特別控除の創設に伴う租税特別措置法の改正等による条文の追加や引用条項の追加等により一部改正をするものです。

（全員賛成で可決）

◎竜王町国民健康保険条例の一部を改正する条例

緊急の少子化対策として、平成21年10月から平成23年3月までの時限措置として、全国一律に出産育児一時金の支給額が4万円引き上げられたことによる一部改正です。

内容としては、現行の出産育児一時金35万円を39万円に、産科医療補償制度に加入している分娩機関での出産の場合は38万円を42万円とするものです。

（全員賛成で可決）

◎竜王町議会の議決に付すべき公の施設の廃止または長期かつ独占的利用に関する条例の一部を改正する条例

町民グラウンドの設置および管理に関する条例を廃止することにより、竜王町議会の議決に付すべき公の施設の廃止または長期かつ独占的利用に関する条例から文言削除をするとともに、「農村婦人の家」の文言を「農村女性の家」に改めるため、一部改正するものです。

（全員賛成で可決）

◎竜王町使用料徴収条例の一部を改正する条例

町民グラウンドの設置および管理に関する条例を廃止することにより、

それに係る竜王町使用料徴収条例の使用料の規定を削除し、また保健センターを介護予防機能を加えた多世代交流拠点として施設の改修整備を行ったことにより、多世代の交流等を進めるスペースとして機能を高め、こども広場、子育て相談や介護予防等、機能を拡大した保健センターとして乳幼児から高齢者までの健康増進および多世代交流の町事業に使用し、従来からの貸館を行わないことから同条例別表の使用料の規定を削除するため一部改正するものです。

（全員賛成で可決）

※条例廃止

◎竜王町町民グラウンドの設置および管理に関する条例を廃止する条例

町民グラウンドは、施設整備以来、四半世紀が経過する中で、岡屋地先にドラゴンハットやテニ

スコートが整備され、町民グラウンドにおける近年の利用実態をみると、利用者数も少なく、その目的を終えた状況となっています。

今般、隣接する「やまびこ福祉会」から、グループホーム建設用地の確保について町に要請があり、町有地の有効活用等も含め、総合的に検討した結果、町民グラウンドの新たな土地利用の方向性を図る観点から、行政財産から普通財産にするため条例を廃止するものです。

（全員賛成で可決）

※規約変更

◎近江八幡市、安土町及び竜王町心身障害児通園事業に関する事務の事務委託に関する規約の変更について

近江八幡市において、本年4月1日から「近江八幡市立心身障害児通園

センター」の名称を「近江八幡市子ども療育センター」に改められました。通園センターでの療育が必要とされた子どもの保護者の不安感や抵抗感に配慮されたものであり、このようなことから規約の一部を変更し、事業名称を心身障害児通園事業から子ども療育事業に、委託事務の負担金を単年度処理に改めるものです。

（全員賛成で可決）

※人事案件

◎竜王町職員懲戒審査委員会委員の任命について

川部 治夫 氏

竜王町 林

（全員賛成で同意）



Before



After

より使いやすくなった女性の家

6月定例会 付託案件

総務産業建設常任委員会

委員長 山田 義明

◎竜王町都市公園条例の一部を改正する条例

竜王町総合運動公園内に多世代交流型高齢者運動効果推進施設であるスポーツジムならびにスタジオの建設を進めています。この施設を有料公園施設とし、その使用料金の制定を一部改正するものです。

(賛成多数で可決)

◎平成21年度竜王町一般会計補正予算(第2号)

既決予算に歳入歳出それぞれ2500万円を追加し予算の総額を49億5640万円に改めるものです。主な歳入は、前年度繰越金2099万円、農地流動化推進対策事業費県補助金230万円です。主な歳出は、武



スポーツジム、スタジオが予定されている施設にて(岡屋・運動公園内)

教育民生常任委員会

委員長 岡司 重夫

◎竜王町国民健康保険条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する法律が平成21年3

月31日に公布され、それに伴う改正規定が平成22年1月1日、4月1日から施行されることによる

一部改正です。主な内容

◎平成21年度国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)

(全員賛成で可決)

既決予算に歳入歳出それぞれ7200万円を追加し予算の総額を50億2840万円に改めるものです。主な歳入は、緊急経済対策補助金4818万円、学校情報通信技術環境整備事業

(全員賛成で可決)

◎平成21年度竜王町一般会計補正予算(第3号)

補助金2517万円です。主な歳出は小・中学校コンピュータ整備事業4613万円、災害に備え防災備品・生活用品の購入723万3千円、公用車の更新692万3千



(仮)やまびこ第2グループホーム建設予定地にて(鵜川・町民グラウンド内)

容は上場株式等による配当所得に係る国民健康保険税の特例として、所得割額の算定につき、総所得金額に配当所得を加えること、上場株式等に係る

(全員賛成で可決)

円、道路橋梁維持補修費156万8千円等です。円、道路橋梁維持補修費1493万円の増額。老人保健医療費拠出金が平成19年度老人保健医療費拠出金の精算額の確定に伴い3182万4千円の増額等です。

(全員賛成で可決)

第二回臨時議会

去る4月3日第2回臨時議会が開催されました。専決処分につき承認を求めることについて2件、一般会計補正予算1件が上程されました。

◎条例改正につき専決処分の承認を求めることについて

竜王町税条例の一部を改正する条例、および竜王町税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例を地方自治法第179条第1項の規定により専決処分を行ったことを報告、承認を求め上程されました。

内容については、地方税法等の一部を改正する法律が平成21年3月31日に公布され、そのうちの一部については4月1日から施行されたことに伴い、竜王町税条例の一部を改正されたものです。現下の経済・財政状況等

決処分を行ったことを報告、承認を求め上程されました。

内容については、地方税法等の一部を改正する法律が平成21年3月31日に公布され、そのうちの一部については4月1日から施行されたことに伴い、竜王町国民健康保険税条例の一部を改正されたものです。今回、地方税法の改正により介護納付金課税額が9万円から10万円に引き上げられたことにより改正が行われたものです。

(全員賛成で承認)

◎平成21年度竜王町一般会計補正予算(第1号)

今回の補正予算については、当初予算額48億9700万円に歳入歳出それぞれ3440万円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ49億3140万円とするものです。

補正予算の主な内容は、緊急経済対策、緊急雇用対策、生活対策に係る事業についての補正予算で

す。

歳出の主なものは、緊急雇用創出特別推進事業としてアグリサポート支援事業委託料が250万円、雪野山整備事業委託料が340万円のそれぞれ増額、緊急地域経済対策ならびに生活対策として、住宅リフォーム促進事業補助金が300万円、「暮らしとともにダイハツ車を」新車購入促進事業補助金が500万円、プレミアム商品券発行事業補助金が100万円のそれぞれ増額、ふるさと雇

用再生特別推進事業補助金が約257万円の増額、緊急雇用創出特別推進事業として、公共用地管理事業に係る臨時職員賃金等に1095万円です。

歳入の主なものは、緊急雇用創出特別推進事業県補助金が1772万9千円、ふるさと雇用再生特別推進事業県補助金が487万1千円などと、前年度繰越金1016万3千円が増額されるものです。

(全員賛成で可決)

第三回臨時議会

去る5月29日、第3回臨時議会が開催されました。専決処分につき承認を求めることについて1件、条例改正2件が上程されました。

◎条例改正につき専決処分の承認を求めることについて

竜王町雪野山史跡広場「妹背の里」設置条例

表に改めるため竜王町雪野山史跡広場「妹背の里」設置条例の一部を改正するものです。

(全員賛成で承認)

◎竜王町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

人事院において現下の経済社会情勢等に鑑み、民間企業における夏季一時金は、昨年の夏季一時金に比べ大きく減少していることががわれるため、民間の状況を公務に反映することが望ましいことや、12月期の一時金で1年分を精算すると大きな減額になることを勘案し、国家公務員の平成21年6月期の期末・勤労手当等の額を暫定的に減額する旨の特例措置が5月1日に勧告されたことに伴うものです。

この勧告に鑑み、竜王町職員の平成21年6月期の期末手当を1・45ヶ月分から1・25ヶ月分に、また勤労手当を100分の140から

100分の125に支給率を暫定的に引き下げるものです。

(賛成多数で可決)

◎竜王町税条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する法律が平成21年3月31日に交付され、地方税法附則第15条の7を加える部分の改正規定が平成21年6月4日から施行されることによる一部改正です。

国においては、良質な住宅を長期にわたり使用することで、住宅の解体や除去に伴う廃棄物の排出を抑制し、環境への負荷を低減するとともに、建替えに係る費用の削減によって国民の住宅に対する費用を軽減し、より豊かで、より優しい暮らしへの転換を図ることを目的として定められた「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」が平成21年6月4日から施行されることから、規定により行政庁の認定を受け

新築された「長期優良住宅」について、固定資産税の減額特例措置が創設され、その適用を受けようとする者がすべき申告

に係る規定の追加、規定の追加に伴う項ずれ、および引用条項のずれの改正を行うものです。

(全員賛成で可決)

国への要望活動

去る6月22日、竜王町

議会議員団は竹山町長とともに地元選出国会議員および国土交通省金子大臣を尋ね、一級河川日野川の早期改修・国道477号の道路改良と竜王インターチェンジの機能強化および国道8号のバイパス整備について陳情しました。

◎日野川の早期改修について

日野川は昭和28年、34年の災害など数多くの水害に見舞われており、近々の出水時には護岸の老朽化と相まって、蛇行が著しいことから絶えず破堤の危険性にさらされており、県内でも非常に危険度の高い河川として沿岸住民は早期の抜本改修を熱望しております。

この間、日野川ダム事業等を実施していただき、平成8年度には広域河川改修事業として琵琶湖河口からの下流区間の積極的取り組みを頂いており

ますが、本町までの工事進捗は予測できない状況と思われまます。日野川全体の中での本町区間は、特に蛇行が著しく、河川増水時には水の淀みが大きく、周辺住民の不安はピークに達しております。

中小河川の氾濫を招き、農地の冠水、家屋の床下浸水等の危険にさらされている状態をよくご理解いただき、1日も早い改修事業の本町への到達をお願いいたします。

◎国道8号のバイパス整備について

竜王町は近畿、中部、

北陸経済圏の接点に位置し主要道路網として名神高速道・国道8号の動脈が通過しており経済振興に重要な役割を果たしております。しかしながら

国道8号においては民家が両側に立ち並んでおり狭い区間の歩道では自転車・歩行者の安全確保が図られず沿道生活者の交通安全に支障をきたしています。現在栗東市から野洲市区間においてはバイパス事業が進められておりますがこの北進についても早期に事業計画を着手していただきたくお願いいたします。

◎国道477号の道路改良と竜王インターチェンジの機能強化について

竜王インターチェンジについては国道8号、国道1号、幹線県道との交通結節拠点として重要な機能を果たしており、通過交通も年々増加しており、その接点としての国道477号沿道では19haの農業地域工業等導入実施計画、34haの工業地域

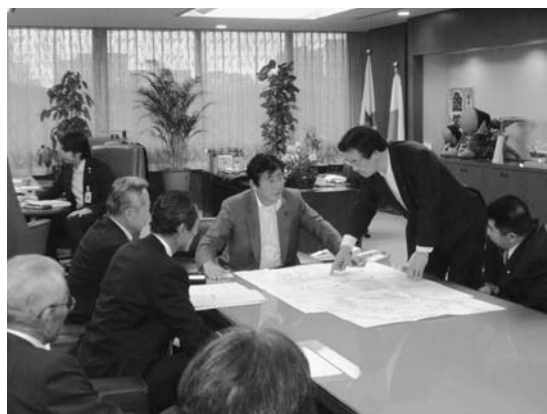
計画、16haの公共的施設整備計画、約70haの県有地の整備計画等が具体化しつつあり18haの大型商業施設が平成22年8月に開業予定でこの状態が続くと周辺地域の産業経済活動を大きく失速させる恐れがあります。道路拡幅改良工事(車道拡幅と歩道設置)と竜王インターチェンジの機能強化を早期に着手していただきたくお願いします。

金子大臣への陳情には岩永衆議院議員も同席され岩永先生が大臣に詳しく説明をしていただきましたが、さすがは大臣、

日野川改修の現状や名神高速道路・国道8号の状況はよく知っておられ、地域の要望にはできる限り努力すると力強いお答えをいただきました。

一級河川および国道等の改修や改良には県の負担金が必要であるため、滋賀県によく説明していただき県が理解と協力をして頂けるようお願いしたいとの宿題を頂きました。

竜王町議会は今後も県・国に対し更なる要望活動を続けて参りますのでご指導のほどよろしくお願い致します。



金子国土交通大臣に陳述する竜王町議員団

第2回定例会

一般質問

- ①土産土法について……………山添 勝之 議員
- ②緊急雇用対策の現状と経済危機対策の取り組みについて……………蔵口嘉寿男 議員
- ③町職員の勤務評定の現状について……………菱田 三男 議員
- ④町長提唱の「土産土法」の具体的な取り組みについて……………小森 重剛 議員
- ⑤西川池の鳥獣被害について……………貴多 正幸 議員
- ⑥竜王町の基幹道路の渋滞対策について……………山田 義明 議員
- ⑦学校の安全対策について……………岡山 富男 議員
- ⑧若者が住みやすい町づくりを……………若井 敏子 議員

一般質問は6月17日に行われ、通告のあった8人の議員から12問の質疑と当局による回答がありました。

本ページから10ページ上段まで、各議員の代表的な質問を一つ、登壇順に掲載しております。

また10ページ下段からその他の質問も掲載しました。是非お読みいただき、ご意見やご感想を議会事務局までお寄せ下さい。

問

町長就任当初からの方針としての「土産土法」について「地産地消」との違い、また現在その計画の進捗は如何程ですか。学問的観点からの可能性について伺う。

答

先ず、地産地消の考察の上に付加価値を生み出すことが一般的「土産土法」の考え方です。

「土産は町の資源」であり「土法は工夫・組み合わせ」であり、竜王ならではの「新しい物や仕組みを作り出す」ことです。産物で言えば新しい価値を持った新製品、オリジナル商品、魅力あるブランド品と言ったものではないかと考えています。

「土産土法」について

【答】自ら考え・工夫し、チャレンジしていく考え方・行動です

山添 勝之 議員



す。

食の上での論ならば地の物、旬の物を地ならではの調理、料理法でもてなすことです。新しい価値を生み出す方向が農業のみならず、商工業、ひいては行政の場においてもその応用が可能と考えております。

進捗については、大きくは「精神・考え方」ということであり、日頃より様々な行政事務事業の中でその気構えを持ちながら年度当初から掲げております「チャレンジ5」の取り組みに向かって進んでいる現状にあります。

現時点では「タウンセンターづくり」であり、「ごみ減量運



協働による土産土法のまちづくり（善光寺川清掃）

動」「自治会の健康づくり」等の取り組みが進んでおります。また、「楽しい参画のまちづくり」は（仮称）まちづくり88委員会の為のPRと開催手法を検討中です。全国、県下で市町合併が進む中、当面自らの力を蓄え、工夫、チャレンジで確実に自律できる町に進んでいる今の竜王町そのものです。

緊急雇用対策の現状と経済危機対策の取り組みについて

〔答〕地域活性化の趣旨を踏まえ検討します

蔵口 嘉寿男 議員



の主な事業の進捗状況について伺う。
さらに、国の大型補正予算において経済危機対策が盛り込まれたが、竜王町において経済危機対策臨時交付金および公共投資臨時交付金の取り組みをどのように展開しようとしているのか伺う。

答

国の「ふるさと雇用再生特別事業」で、観光案内事業で1名、教育支援教室事業で1名と雇用をはかりました。

「緊急雇用創出特別推進事業」で、町道等管理事業で4名、アグリサポート支援事業で2名、小学一年生すこやか支援員事業で2名、雪野山保全整備事業で2名と雇用の創出をはかりました。

また、国の中小企業の経営維持資金の調達のための緊急保証制度の認定件数が70件を超えています。



経済危機対策

さらに、本町における定額給付金2億円余の交付は、現在、申請件数で82%、支払額で90%となっています。

また、国の「経済危機対策臨時交付金」では、約5600万円の交付限度額のうち、今議会に4813万円の補正予算を提案しています。

「公共投資臨時交付金」については、交付金の活用方策について充分検討できていない状況です。今後、地域活性化という趣旨を踏まえ、また長期的な財政運営の視点で慎重に検討をしていきます。

問

地方公務員法第40条では「任命権

者は、職員の職務について定期的に勤務成績の評定を行い、その評定の結果に応じた措置を講じなければならない。」とされています。

先般の神戸地裁判決では、勤務評定を行わずに支給する勤勉手当は、地方公務員法に違反すると判決も出されています。そこで、竜王町においても、地方公務員法に定める勤務評定制度に基づき、職員の勤務実績、能力等が公正に評価され、それを基にした適切な職員配置、昇任・昇格が行われているかについて伺う。

答

人事評価の導入につきましましては、

平成19年度から制度導入にかかるプロジェクト委員会を立ち上げ、職員に対して意見集約を図るなど今日まで制度周知のための研修を重ねてまいりました。

「人事評価」は、本町では「人事考課」という表現を使っておりますが、これを平成21年度4月より試行しております。

勤務評定も人事考課も「職員」が「職員」を評価することになります。その評価の「公平性」、「客観性」、「透明性」が基本原則であります。

なお、今日までの勤務評定の状況につきまして、評価をした上で勤勉手当等に成績を加味する

町職員の勤務評定の現状について

〔答〕「公平性」「客観性」「透明性」を確立させ考えています

菱田 三男 議員



ことはしておりませんが、所属長面接等を実施した中で、人事異動や昇格・昇任の際には反映させていたいております。

先にご紹介いただきました神戸地裁での宝塚市勤勉手当訴訟は、勤務評定もなく、支給されているのは違法であるとした判決がある一方で、勤務評定により発生した損害に対する補償にかかる職員からの措置要求は増加傾向にあると言われています。

こうしたことも踏まえて、今後は、人事考課の試行を重ね、制度を成熟させ、「公平性」、「客観性」、「透明性」が担保された制度を確立させていきたいと考えております。

問

町内でも、人員削減や、配置転換の関係で退職した人、就職先がみつからない人、内定を取り消された人など、苦悩されている方がおられるが、現在、竜王町での雇用の確保対策



これからのまちづくり

問 町長は、先の地域創造まちづくりフォーラムにおいて、チャレンジ5の取りくみについて説明されました。まさに、それぞれの項目について町民の皆さんと連携した取り組みを進めようとされ、重要な取り組みであります。

答 しかし、「土産土法」および「まちづくり」においては、具体的に見えてこないのが現状だと思っています。農からチャレンジする「土産土法」の具体的な取り組みはどのようなものか伺う。

また、「土産土法」は農業分野だけでなくあらゆる部局においても検討されていると思われますが、今後実施しようとしている内容について伺う。

総務政策の企画部門としての取り組みは、総合庁舎周辺を住民活動および交流の拠点エリアとして形成していく上で、住民視点での「タウンセンター」交差点デザイン会議の取り組みです。

地域コミュニティの部門では「集落・自治会の健康づくり」です。地域・自治会がたくましく継続・向上して行くための「自治会の健康診断」を検討しています。

生活環境部門では、「ごみ減量運動」の推進、健康福祉部門においては地域での子育てのサポートや、孫を見ている世代が、家庭で積極的に子育てに関わりをもっていけるような環境づくりを検討しています。

問 現在においても、西川池に隣接する歩道や、欄干にカワウやサギのフンが多く見られ、また、雛の姿も見受けられ、個体数が減っているとは思えません。これから気温も上昇し

答 現在のところ、カワウによる直接の農作物への被害報告は受けておりませんが、西川池でのカワウの営巣により、周辺の景観、樹木の枯れ、悪臭がひどいことから町内の有識者のご意見を聞く中で、西川池の管理者であります地元区へ、ため池と国道477号の歩道との間の樹木植生帯の伐採等を現在、取り組んでいただいております。

また、県の紹介を受ける中で、民間業者によるオニヒトデの粉末状のものを固



鳥獣被害が懸念される西川池

まらせてゼリー状の忌避剤を吊り下げることによるカワウの営巣活動妨害を実施していただいたところでありましたが、結果としては目に見えた効果が現れなかったという状況であります。

こうしたことから、当地区は特定猟具禁止区域に指定されておりますが、今後は猟友会および鳥獣保護員さん並びに関係機関と協議をし、安全を確保する中で銃器による駆除を視野に入れて考えてまいりたいと思います。



町長提唱の「土産土法」の具体的な取り組みについて

〔答〕「チャレンジ5」としてスタートしています

小森 重剛 議員

西川池の鳥獣被害について

〔答〕銃器による駆除を視野に入れて考えます

貴多 正幸 議員

ていく中で、フンによる悪臭、また人身への危害、植生の衰退、生活環境の悪化等を考えると早急に有効な対策を講じなければならぬと考えますが、町としての考えを伺う。

現在、カワウによる直接の農作物への被害報告は受けておりませんが、西川池でのカワウの営巣により、周辺の景観、樹木の枯れ、悪臭がひどいことから町内の有識者のご意見を聞く中で、西川池の管理者であります地元区へ、ため池と国道477号の歩道との間の樹木植生帯の伐採等を現在、取り組んでいただいております。

また、県の紹介を受ける中で、民間業者によるオニヒトデの粉末状のものを固

竜王町の基幹道路の渋滞対策について

【答】スマートインターは現在の状況では大変厳しい

山田 義明 議員



問

1、竜王インターの改良はどのような対応されているか伺う。

2、竜王スマートインターの取組はどの様になっているか伺う。
3、国道477の竜王イ



改良が待たれる竜王インターチェンジ

ンター周辺を除く改善の取組を伺う。
4、アウトレットのオープン時の渋滞対策について伺う。

答

町としては、平成22年の大型商業施設供用開始までに取組むこと。

供用開始後1～2年で取組めること。

将来計画として取組むこと。の3段階に分け実施し、各質問の答は次の通りです。

1、新名神開通後竜王インターの利用台数が減

少の中、西日本高速道路(株)が改良計画を検討することは困難であります。将来の開発整備の可能性を見据えてインターの改善に向けた要望活動を行います。

2、蒲生スマートインターが平成25年完成の目途で進められていて、県との協議で優先順位や、蒲生スマートインターの効果を見ると状況は大変厳しい状況です。

3、県と協議しています。が、現状の交通量調査を実施し道路改良の必要性を要望していきま

4、事業者に対して敷地内の駐車台数3300台と臨時駐車場の確保、公共交通の活用、シャトルバスの運行、交通整理員の適正配置、案内看板の設置等について具体的な対策を検討し、示すよう要請しています。

問

現在、西小学校区内では下校時に

スクールガードの方々が、子どもたちの下校時間に合せて、学校まで迎えに来て、一緒に帰られる姿が毎日のように見かけられます。また、学校まで行かれない方も各地域の入口で待つて下さっており、この事により保護



スクールガードの皆様ご苦労様です

者の皆さんも大変喜んでおられます。

竜王小学校区内では、スクールガードをされておられる方は少なく、特に低学年が下校する時、遠い地域の子どもは途中から一人になってしまうので安全性が懸念されます。そこで、教育委員会として、竜王町全体でス

クールガードの増員は考えておられるのか伺う。

答

教育委員会として

ましても、「地域ぐるみ学校安全体制整備推進事業」のモデル地区の委託を受けました平成19年度に「地域ぐる

学校の安全対策について

【答】9月から実施するよう検討します

岡山 富男 議員



みの子ども安全推進委員会」を立ち上げ、両小学校におけるスクールガードの拡充に努めてきたところであります。従来の

竜王小学校のスクールガードは、その年度のPTAの本部役員や字委員の保護者の方がほとんどであり、単年度活動になってしまいつても継続性に欠けます。今年度、竜王小学校区における充実を図るために、地域で子どもたちを見守るという原点に戻り、字単位でスクールガードの方を推薦いただきたいと区長会や老人会に協力要請をお願いさせていただき、現在、それぞれの団体からご了解も得て具体的な進めをしているところであります。



若者が住みやすい町づくりを

【答】地区計画や土地利用計画で調整を図ります

若井 敏子 議員

問

ダイハツで派遣切りにあった青年たちは、寮を出ると直ちに住むところと仕事を探さなければならぬ。彼らの願いは竜王に住みたい、手頃な家賃のアパートがほしい。というものです。

布団とベッド、テレビ



元服式に参加した青年たち「みんな竜王にずっと住んでいてね」

と冷蔵庫が部屋にあつて、洗濯機や風呂、トイレは共同という寮生活から、生活用品のすべてをそろえてその上にアパートに入るための権利金や敷金、二ヶ月分の家賃を合計すると、自立資金はざっと100万円です。

町は若者定住といいま

答

若者定住には総合的な町づくりと、施策やシステムづくりが必要で、町内の企業に勤務されている若い方々は集合や個人の住宅を望まれています。しかし課題も多く、地区計画や土地利用計画との調整を図り、取り組むたいと考えています。

【答】「経済危機対策」として「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」および「地域活性化・公共投資臨時交付金」が各地方公共団体に交付されることが決定されました。町執行部として、交付金の活用方法および県に交付される交付金についての事業要望を、どのような形で行われるのかお伺いします。

こ な 質 問 も し ま し た

問

山添 勝之 議員
鳴谷池の漏水を心配しています。

万が一大雨でも降れば、池の決壊がアウトレットパークを直撃しかねません。何らかの対策が必要と思うが所見を伺います。

答

日野川流域土地改良区と竜王町で現地確認しましたが、貯水低下のため、漏水箇所の特定は確認出来ませんでした。しかし老朽貯水池整備事業の具体的手法を含め、地元と協議し調整して参ります。

小森 重剛 議員

問

「経済危機対策」として「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」および「地域活性化・公共投資臨時交付金」が各地方公共団体に交付されることが決定されました。町執行部として、交付金の活用方法および県に交付される交付金についての事業要望を、どのような形で行われるのかお伺いします。

答

「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」については、交付金の目的に沿った事業で、今後事業実施の必要度の高いものを中心に「新型インフルエンザ対策」や「地上デジタル放送化対策」および「防犯対策」などを本会議に追加提案させて頂きました。また、「地域活性化・公共投資臨時交付金」については、今後、制度の詳細が明らかになり次第、地域活性化という趣旨を踏まえ慎重に検討を深めてまいります。

問

若井 敏子 議員
国の緊急経済対策の一環である「安心子ども基金」を活用して民間保育所運動場の整備、発達障害の子どもや保育料の払えない親

一方、県への要望活動については、今まで要望してきた内容を再精査するとともに、各担当課において県への事業取り込みの働きかけを行ってまいります。

御さんへの支援などできないか。

答

基金を使つての整備事業については、ひまわり保育園との協議も必要ですが運動場については地元で借りておられて十分です。障害のある子どもさんについては補助金を出しています。保育料の滞納、未納はありません。

若井 敏子 議員

問

オバマ大統領がプラハで「核兵器のない世界」を国家目標にするとして世界の国々に協力を求め、日本共産党はこれを高く評価しました。

答

竜王町は平和都市宣言をし、非核宣言自治体協議会にも加盟しているのですから今年からなんらかの新たな行動を求めます。今年度は平和市長会議総会に参加し、住民が安心して暮らせる地域社会の実現のため、平和活動に活かして行きたいと考えています。

各委員会報告

総務産業建設常任委員会

委員長 山田義明

所管事務調査

本委員会は5月12日と6月12日に次の所管事務調査を行いました。

1、中部水道事務所・馬

渕浄水場、湖南中部浄化センターの視察研修

馬渕浄水場では、わが町に送られる上水が琵琶湖から取水され、浄水場で処理された後、竜王町配水池に到着する迄を、湖南中部浄化センターでは下水がどの様に処理され琵琶湖に排出されるのかを調査しました。

2、集中改革プランの取

組

平成20年度の歳入・歳出での財政効果は3700万円でありました。

平成21年度の主な取組は薬師地先16haの町有地の活用検討、交竜地まち倶楽部の設置・まちづく

り見聞特派員レポート事業、自治会の健康診断で課題の洗い直し、職員の人事考課の試行等です。

3、「竜王インターチェ

ンジ関連道路整備検討協議会」

町内の交通網の検証及び対策、道路改良工事計画の策定、その他竜王インターチェンジ関連道路に関する協議と調整が行われるが、まずは交通量調査を実施の予定です。

4、経済対策の進捗状況

町内産業の振興を図る住宅リフォーム、新車購入促進事業の受付状況の説明がありました。

5、ふるさと雇用再生特

例推進事業

道の駅において観光案内・観光ルート企画や情報発信を行うため雇用1名および「教育支援教室」を実施するため、1

名が雇用されています。

6、緊急雇用創出特別推進事業

町道等管理事業、アグリサポート支援事業、小学一年生すこやか支援事業、雪野山保全整備事業があり雇用人数は10人で期間は約半年間の雇用です。

7、産地の取組と有害鳥

獣に係る現況

最近ではアライグマ・ハクビシンも出没するようになり、猪の被害も年々拡大し、有害鳥獣駆除の申請数や捕獲数も増えた。捕獲器は猪用に5基、アライグマ・ハクビシン用に3基新に購入した。



湖南中部浄化センターの視察研修

教育民生常任委員会

委員長 岡司 重夫

所管事務調査

4月27日、6月8日、次の事項について調査しました。

◎武道交流会館の整備について

2月25日の教育民生常任委員会および利用者団体から出された意見をもとに、屋根部分の「あかりとり」の計画変更、更衣室に至る通路の設置、延べ床面積が902・30㎡となったことなどが変更されました。

◎幼稚園預かり保育について

預かり保育の園児数は4月20日時点で、4歳児、5歳児あわせて両幼稚園で41名です。5月以降4歳児が15名増える予定。保護者がパート勤務されている方もあり、今後、家庭訪問等により状況把握、問題点を探って



たのしいな!! ねんどあそび

いきたいとのことでした。

◎竜王町保健センター、竜王小学校、武道交流会館建設予定地（竜王中学校敷地内）、鶴川町民グラウンド、多世代交流型高齢者運動効果推進拠点施設（運動公園内）の現地視察
この中で、鶴川・町民

グラウンドは、社会福祉法人「やまびこ福祉会」がグラウンド北側に第二グループホームの建設を計画されています。

町民グラウンドについては、整備以来25年が経過する中で、岡屋地先にドラゴンハットやテニスコートが整備され、本施設の利用実態をみると減少傾向にあり、町有地の有効活用を図る観点から、「やまびこ福祉会」の要請を受入れたものです。

合併調査特別委員会

委員長 蔵口嘉寿男

本委員会は、去る6月15日に竹山町長の挨拶を受けた後、今議会において意見集約をするとの確認のもとに審議を行い、「第14期議会合併調査特別委員会まとめ」として最終集約をいたしました。

なお、このまとめは12ページに及ぶことから、総合的な意見集約のみを掲載させていただきます。

◎総合的な意見集約

一、住民自治の本旨から、合併の判断は町民一人ひとりが合併の状況や情報を共有して判断していかなければならないことは言をまたないところであるが、その時期と判断に要するエネルギーは大変なものであると想像される。

そのためには、拙速に合併の判断をすることなく、住民の合併に対する

理解や合意を最優先すべきだと考える。

二、前段に合併にかかる諸情勢と経過および動向をまとめてきたが、近隣市町からの合併の意向打診や申し入れは現時点で正式にはなく、合併する、合併しないを別にして当面、竜王町の地域振興や活性化に向けて自立のまちづくりを推進し、特に財政基盤の安定に努めるべきである。

三、自立のまちづくりを当面目指すことが現時点の当合併調査特別委員会の意見集約であるが、合併しないという一つの判断ではなく、道州制の推進や合併をめぐる諸情勢の変化により、今後も将来に向けて合併も視野に入れた情報の提供を行い、合併の議論や判断をする必要がある。

四、今後とも、行政が住民自治全てを担うのではなく、住民が自発的に地域や竜王町域を含めた、まちづくり意識を高めていくことに力点をおき、その推進と体制づくりに努めるべきである。

以上が、意見集約のまとめの概略です。
また、本委員会では一つの区切りとして意見集約をまとめたこともあり、今定例議会をもって審議を終結することを委員全員で決定しました。

最後に、1年9ヶ月にわたる本委員会の審議に執行部をはじめ関係皆様方には、格別のご高配とご協力を賜りましたことに厚くお礼申し上げます。



地域創生まちづくり特別委員会

委員長 山添 勝之

本委員会は5月19日、6月15日の両日、次の事項について調査しました。

A（仮称）三井アウトレットパーク

1、建設現場の視察について

先ず、造成工事現場へ入って「えっ、こんなに広いの」が、偽わらざる感想です。大きな重機が

走り廻る中ですが、振動、騒音、砂埃対策が良く取られており、環境に配慮しながらの工事であると実感しました。

続いて、国道477号の道路改良工事について説明を受け、アウトレットパーク開店による交通渋滞緩和対策として道路拡幅工事が進んでおりま



アウトレット現地視察

す。

〈主な意見として〉

排水対策としての掘込式調整池の管理に万全を尽くされたい。

2、コンセプト

「環境共生型アウトレットパークの創造」

社会的環境意識の高揚の中、当商業地区を訪れるお客様が買い物以外の楽しみや憩い等、時間的要素を求めるニーズとして水と緑に恵まれた自然豊かな当地を最適としたことです。

3、道路交通問題

臨時駐車場を設ける等渋滞対策に万全を尽くし、一般の名神高速、国道477号利用者に対し迷惑が掛からないよう努力しなければなりません。

〈主な意見として〉

竜王インターチェンジ改良を早急に対処されたい。

B タウンセンターにおける商業施設

現在、西通り線の改良拡幅工事が順調に進められており、今後開発申請

農地転用が行なわれ平成22年末頃、開店見込みです。（事業者と調整中）

〈主な質疑応答〉

問 この計画当初、この地域を中心としたコミュニ

ティバスを運行する予定のはずであったがどうか

答 今後の検討課題としております。

議会運営委員会

委員長 岡山 富男

3月30日委員会を開

催、平成21年第2回臨時議会案件は、一般会計補正予算1件、専決処分の承認2件の計3議案であります。また、議会報告会について協議しました。日程は、5月21日（木）、22日（金）、23日（土）の3日間で、時間は午後7時30分～午後9時30分までの開催とし、会場は町内6会場としました。説明内容は、3月定例議会に提案された、21年度予算や補正予算、一般質問、委員会活動等を説明し、意見等を集約するよう決めました。

4月24日議会報告会の

各役割分担をし、町内全戸への配布チラシと区長依頼文の印刷等の作業をしました。その後、平成21年第2回（6月）定例議会の会期および日程について、審査決定しました。また、5月15日議会報告会について最終の打ち合わせをしました。タイムスケジュールや個々の役割を詳細に決めました。特に、一般質問での夜間議会や有線放送での生中継について住民皆さんの意見を聞くこととしました。しかし、5月20日に県南部に新型インフ

ルエンザ感染者の2例目が出たということから、急遽、議会報告会は中止にしました。

5月25日平成21年第3回臨時議会に提出される案件は、条例改正2件、専決処分の承認1件、計3議案の説明を受け議案の処理について審査決定しました。

6月1日、平成21年第2回定例会に提出される案件は、条例の制定及び一部改正4件、一般会計・特別会計の補正予算2件、規約変更1件、報告2件の計9議案であります。議会開会中の6月10日、追加議案として、条例改正3件、一般会計・補正予算1件、人事案件1件の計5議案の説明を受け、議案の処理について審査決定しました。つづいて、一般質問12問について、協議しました。今回は、8人で12問の質問であるため午後1時から開催し、夜間議会は行わない事に決定しました。

議会広報特別委員会

委員長 貴多 正幸

本委員会は、平成21年第1回定例会閉会後の4月2日委員1名欠席、4月7日委員全員出席、4月13日委員1名欠席、4月21日委員全員出席のもと委員会を開催し、5月1日に議会だより147号を発行しました。

また、平成21年第2回定例会開催中の6月10日

に委員全員出席のもと、議会だより148号の編集会議を開催し、ページごとの役割分担、文字数等について検討しました。今後も委員それぞれが協力しながら、町民に親しまれる、わかりやすい議会だよりの発行に努めてまいります。



「お詫びと訂正」

前号（147号）3ページ「平成21年度特別会計決算状況」とあるのは、「平成21年度特別会計予算状況」に訂正し、お詫び申し上げます。

議会傍聴記

今回、竜王町議会の本会議場に一傍聴者として入場させて頂きました。

私にとっては初めての経験で、恥ずかしながら自分の意思ではなく、ある方に進められてのことです。町役場の3階など縁のない所だと思っておりました。

開会15分前に礼をして入場しました。飾り気のない場所、そして雑念を寄せ付けない感じで緊張が走りました。

5分前に議員、町長以下町執行部が一礼し入場、町政運営の重席（責）へ着席されました。議長の開会宣言で、平成21年第2回定例会「一般質問」が質問議員8名12件について始まりました。

まず、最初に感じたことは、議員数よりも町執行部の出席者が多いことです。答弁の為とはいえ本当に必要なのか、質問については先に文書で提出され、回答は用意されているのに「なぜ」だと、疑問を感じるとともに異様な光景に驚きました。

質問は、町長提唱の「土産土法の具体策」「経済危機に関連した「雇用問題」と「臨時交付金の活用策」「学校や子供の安全対策」等、いずれも地域に密着した問題ばかりの質問でした。

当日の議事日程表を見ながら質問と回答のやりとりで全神経を集中させて聴き入りました。私に内容を評価する知識、技量はありませんが、機械的というかシナリオ通りに進行されているように感じました。

会議中の全てが議事録として残される

とはいえ回答が難しい文言と専門用語、そして前置きの長い文書の朗読ばかりです。また、再質問についても文書の読み上げ、内容は「検討中です」「現段階では難しい」「県との……」「考えて参ります」等で、明確な回答が少なかったように思いました。

政策に対して、熱い議論と激しいやりとりを期待していたのですが、少し残念な思いをしました。

閉会は6時過ぎになり、5時間余りで集中力を使い果たし議場を出た瞬間、どつと疲れを感じました。これを機会に、また後ろの席に座らせて頂き、この次はもっと掘り下げた自身の勉強をしたいと思っています。

議員の皆様、町政運営に携わる全ての方々に感謝し、議会傍聴の感想といたします。

松瀬 徳治

編集後記

毎日暑い日が続いていますが、皆様方には益々お元気で過ごすごのこととお慶び申し上げます。

世界的な経済不況に加えて、新型コロナウイルスがまだまだに終息せず、今年の冬の流行が心配されます。

さて、国が1999年から進めてきた「平成の大合併」は来年3月に終結することになり、全国で3232あった市町村数は1760となる見込みです。

また、滋賀県では現在13市13町から、来年3月には13市6町となる再編の動きがあります。

竜王町においては、市町合併推進検討会議より審議の結果が提言され、議会においても国・県他市町の動きや情報収集等調査活動に努めて参りました。

本町は当分の間「自律のまちづくり」を推進することになりました。（詳細は合併調査特別委員長報告の通りです）

今後とも竜王町議会にご支援賜りますようお願い申し上げます。

大橋 記

議会広報特別委員会

委員長 貴多 正幸
副委員長 大橋 弘
委員 岡山 富男
山添 勝之
岡司 重夫
小森 重剛